

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和08年09月24日

計画の名称	FIT広域対流圏強化による広域的観光活性化計画（重点③）													
計画の期間	令和04年度 ～ 令和08年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	福島県													
計画の目標	福島県（F）、茨城県（I）、栃木県（T）（以下、「FIT」という）は、首都圏と東北圏をつなぐエリアであり、東京圏への近接性や、豊かな地域資源と自然環境を活かし、首都圏広域地方計画の広域連携プロジェクトである「4－7. FIT広域対流圏の強化プロジェクト」に基づく芸術・文化、自然環境等の魅力的な地域資源を活用した地域づくりや体験を軸とした観光を推進することで、FITブランドの確立や広域観光交流を促進させるとともに、観光周遊上の基盤整備をあわせて実施することで、広域対流圏として更なる発展を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		3,509	A	3,509	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R 1		R 8
1	【栃木県・福島県・茨城県 共通目標】 福島県FIT地域市町村、茨城県県北・県西地域、栃木県全域の観光入込客数6,624万人（R1）から6,907万人（R8）に増加（283万人（4%）の増加）			
	【栃木県・福島県・茨城県 共通目標】 福島茨城栃木広域観光圏域における観光入込客数 （観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数 － R1の年間観光入込客数）／（R1の年間観光入込客数）	6624万人	万人	6907万人
2	【福島県 単独目標】 福島県FIT地域市町村の観光入込客数1,567万人（R1）から1,590万人（R8）に増加（23万人（1.5%）の増加）			
	【福島県 単独目標】 福島・茨城・栃木広域観光圏域の福島県内の市町村における観光入込客数 （観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数 － R1の年間観光入込客数）／（R1の年間観光入込客数）	1567万人	万人	1590万人
3	【福島県 単独目標】 拠点施設「道の駅はなわ」の年間利用者数23.9万人（R1）から24.26万人（R8）に増加（0.36万人（1.5%）の増加）			
	【福島県 単独目標】 拠点施設「道の駅はなわ」の年間利用者数 （年間利用者数の増加割合）＝（評価時点の年間利用者数 － R1の年間利用者数）／（R1の年間利用者数）	23万人	万人	24万人
4	【福島県 単独目標】 本整備計画で設定している拠点施設間の主要アクセスルートにおける所要時間を1.67%短縮			
	【福島県 単独目標】 地域拠点等へのアクセス時間短縮割合（バイパス整備事業） （所要時間短縮割合）＝ {R1時点の所要時間（116.18分） － R8時点の所要時間（114.23分）} ／R1時点の所要時間（116.18分）	116分	分	114分

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
・全体事業費に占める提案事業費割合は、2.9%となる。・その他事項については、整備計画関連事項に記載。												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-001	道路	一般	福島県	直接	福島県	国道	改築	（国）121号 大島乙	交差点改良 L=0.2km	下郷町	■	■	■	■	■	500		－
	A11-002	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府 県道	改築	（一）山本不動線 中ノ 内	バイパス整備 L=1.0km	棚倉町		■	■	■	■	450		－
	A11-003	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府 県道	修繕	（一）山本不動線 中山 本	舗装改良 L=3.5km	棚倉町	■					220		－
	A11-004	道路	一般	福島県	直接	福島県	国道	改築	（国）118号 板橋	局部改良 L=0.4km	棚倉町	■	■	■	■	■	450		－
	A11-005	道路	一般	福島県	直接	福島県	国道	改築	（国）352号 福渡	バイパス整備 L=0.8km	南会津町	■	■	■	■	■	1,579	1.86	－
A11-006	道路	一般	福島県	直接	福島県	都道府 県道	交通安 全	（一）矢祭棚倉自転車道 線 台宿外	自転車道整備 L=9.6km	塙町 外	■					80		－	
A11-007	提案	一般	福島県	直接	福島県	都道府 県道	－	（一）矢祭棚倉自転車道 線 奥久慈工区	休憩施設整備 N=5箇所	棚倉町 外	■	■	■			230		－	
	自転車道整備（A11-006）にあわせ、休憩施設を整備することで、当該路線の活用を図る。																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											小計						3,509		
											合計						3,509		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05	R06	R07	
配分額 (a)	253	153	234	436	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	253	153	234	436	
前年度からの繰越額 (d)	0	31	13	16	
支払済額 (e)	222	171	231	287	
翌年度繰越額 (f)	31	13	16	165	
うち未契約繰越額(g)	15	0	1	50	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	5.92	0	0.4	11.06	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由				用地交渉に不測の日数を要したため。	

事前評価チェックシート

計画の名称： FIT広域対流圏強化による広域的観光活性化計画（重点③）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○